



広報

たしろ

No 501

平成7年

6月号

平成7年6月8日発行

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地1



田代の心忘れずに

近 畿 田 代 会

(詳しくは、関連記事5ページ)

3. 財産の状況

区 分	金 額
土 地	600,030m ²
建 物	25,714m ²
山 林	4,246,469m ²
有 価 証 券	5,368,000円
出 資 金	38,223,362円
基 金	1,020,093,213円

4. 町債の状況

町債の現在高	1,969,957千円
(内訳) 資金運用部	970,343千円
簡易保険局	514,030千円
公営企業金融公庫	296,633千円
その他	188,951千円

5. 一時借入金の状況

一時借入金	200,000千円
-------	-----------



写真右より

田代町長賞	うめもと4号 (第5平茂)	梅元 義則
グランドチャンピオン賞	こまち号 (神高福)	近川 正人
農協長賞	さとひめ8号 (神高福)	袖山 勝八

五月十一日、肝属中央家畜市場において郡春季畜産共進会が開催され、各町より選抜された百六十六頭の共進会牛が勢ぞろいしました。

肝属郡春季畜産共進会 田代町健闘 総合3位

出品牛は、月令毎に五区に区分され、登録協会、県経済連、肉改研の審査員により入念な審査が行なわれました。審査の結果、本町の出品牛は、日常の個体管理と手入れがゆきとどき大多数が最優秀賞を獲得する健闘を見せ、見事総合三位に入賞しました。出品者の



5月登録審査最高得点84.2点

皆さん御苦労様でした。又、秋の共進会に向け、日常管理をよろしく願います。

郡春季畜産共進会部門別成績
一部(月齢12ヶ月未満)
袖山勝八(辺志切)
さとひめ8号最優秀賞
藤崎 操(久木野)
ふじかね号 優秀賞

総合成績	第一位 東串良町
	第二位 根占町
	第三位 田代町
折小野浩一(岩崎)	ちほこ号
舞原幸一郎(鶴園)	はなこ号
有里熊一(山之口)	ともみ6号
徳永 繁美(西中郡)	むつこ号
親牛のりはな51号	娘1のりはな14号
娘2つるみ号	五部(父系群 4頭1組 神高福)
尾長谷昌美(郷ノ原)	みつひめ号 優秀賞
鶴園 満(鶴園)	四部(育種高等群3頭1組)
梅元義則(内ノ牧)	三部(月齢18ヶ月、24ヶ月)
うめもと4号最優秀賞	こまち号 最優秀賞
近川正人(辺志切)	二部(月齢12ヶ月、17ヶ月)
二部(月齢12ヶ月、17ヶ月)	最優秀賞

第45回社会を明るくする運動
「ふれあいと対話が築く明るい社会」
平成七年七月一日から三十日まで実施

田代町の財政事情

平成6年度下半期(10月～3月)

1. 収入及び支出の概要

平成7年3月31日現在

平成6年度下半期(平成6年10月1日から平成7年3月31日)における財政事情を公表します。平成6年度計画されました事業も町民の皆様の御協力によりまして順調に執行されました。この公表を通じて町民各位に町の財政状況をご理解いただき今後の財政運営に一層の御協力をお願いいたします。

収 入

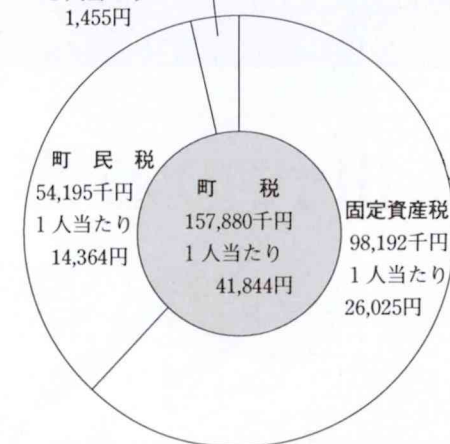
科 目	予 算 額	構成比	収 入 額	収 入 率
町 税	169,628	5.3%	167,702	98.9%
地 方 譲 与 税	45,235	1.4%	30,937	68.4%
利 子 割 交 付 金	5,045	0.2%	4,079	80.9%
自動車取得税交付金	13,800	0.4%	9,453	68.5%
地 方 交 付 税	1,428,521	44.6%	1,514,516	106.0%
交通安全対策特別交付金	1,100	-	579	52.6%
分担金及び負担金	41,188	1.3%	38,550	93.6%
使用料及び手数料	22,131	0.7%	21,915	99.0%
国 庫 支 出 金	259,911	8.1%	155,669	59.9%
県 支 出 金	399,376	12.5%	116,490	29.2%
財 産 収 入	92,374	2.9%	92,333	99.9%
寄 附 金	339	-	339	100.0%
繰 入 金	29,757	0.9%	19,905	66.9%
繰 越 金	133,263	4.2%	133,263	100.0%
諸 収 入	9,900	0.3%	10,036	101.4%
町 債	549,901	17.2%	41,000	7.5%
歳 入 合 計	3,201,469	100.0%	2,356,766	73.6%

支 出

科 目	予 算 額	構成比	支 出 額	支 出 率
議 会 費	80,470	2.5%	80,126	99.6%
総 務 費	324,797	10.1%	242,800	74.8%
民 生 費	434,050	13.6%	423,427	97.6%
衛 生 費	105,751	3.3%	86,595	81.9%
農 林 水 産 業 費	1,037,643	32.4%	513,667	49.5%
商 工 費	16,314	0.5%	14,239	87.3%
土 木 費	286,763	9.0%	249,174	86.9%
消 防 費	223,318	7.0%	120,040	53.8%
教 育 費	333,642	10.4%	320,267	96.0%
災 害 復 旧 費	67,424	2.1%	61,216	90.8%
公 債 費	286,296	8.9%	285,242	99.6%
諸 支 出 金	1	-	0	0%
予 備 費	5,000	0.2%	0	0%
歳 出 合 計	3,201,469	100.0%	2,396,793	74.9%

2 町税の負担の状況

軽自動車税 5,493千円
1人当たり 1,455円



一般会計

平成6年度三月末現在の一般会計予算額は3億2,469千円に對し、収入額は2億3,676千円、収入率は73.6%(前年度62.3%)となっています。

一方、支出額は2億9,679千円、支出率は74.9%(前年度は62.1%)となっています。

また、住民負担の状況は予算額1億5,788千円、住民一人当たりの負担額は4万1,844円となっています。

親善ミニバレー大会

花瀬地区

平成七年度花瀬地区親善ミニバレーボール大会が、二十一日(日)町開発センターで行われました。

あいにくの雨で予定されていた花瀬ふれあい広場での実施はできませんでしたが、地区民総出で九チームが参加し熱戦を繰り広げ、地区民の明日への活力となりました。



本年は初の試みとして四十代から六十代だけでチームをつくり、あまりボール

にふれることのない方々にも参加して、楽しんでもらい大変好評でした。結果は瀬戸口集落の優勝で、原沢集落の三連覇を阻止しました。

春の

交通事故防止運動

春の全国交通安全運動期間が、五月十一日から二十日まで実施されました。

本町では、五月十八日(木)、大根占地区交通安全協会田代支部の会員と田代町交通安全母の会の方々と、アメ玉作戦と併せて交通事故防止を運転者に呼び掛けました。

当日は、二百個準備したヤクルトもあつという間に無くなりました。

尚、田代町は五月三十一日現在で交通事故死亡事故「〇」三七九八日を達成し現在も更新中です。

右田 始さん 勲五等双光旭日章授賞

平成7年度「春の叙勲」に。右田始さん(東中郡)が勲五等双光旭日章を授賞しました。この賞は、右田始さんの7期28年(昭和38年から平成3年、うち、議長を4期)の議員生活をはじめとする多くの役職により町政及び町振興に貢献した業績を称え、授与されたものです。



国保運営委員

任命について

田代町国民健康保険運営協議会では、今回の町議会議員改選及び委員の欠員に伴い、次の方々が委員に任命されました。

(敬称略)



石井 幸男 濱畑 和人



伊藤 文吉

現在の国保運営委員(九名)
・被保険者代表
坂元 安幸
袖山 勝八
槐島 博美
・保険医、保険薬剤師代表
濱畑 俊仁
神田 光一
濱畑 和人
・公益代表
石井 幸男
猪鹿倉昭雄
伊藤 文吉

ふるさと談義に花咲く

近畿田代会総会

談義に花が咲いていた。

関西在住田代町出身者で組織する近畿田代会(小蘭賢一郎会長)の第十一回総会が五月二十一日、大阪市阿倍野区の「ホテルエコーオーサカ」で開かれ、約百五十人の会員が参加。田代町からも、二年ぶりに参加する町長をはじめ、町議会議員、役場の職員、町民ら総勢十一人が駆けつけるなど、久しぶりのふるさと



近畿田代会は、関西在住の田代町出身者の親ほくと地元との交流の活性化を目的に昭和六十年に設立。現在の会員は約四百二十人。総会では、小蘭会長が「会員の中には先の大地震による被災者もいる。元気で頑張ってください」とあいさつ。町長が大震災のお見舞いと「田代町という心のふるさとを忘れずに、関西の発展に活躍してください」と述べた。

また、「田代町活性化賃借宅地分譲地事業」や「生き生き明るい暮らしの里整備事業計画」など、田代町の現状を説明した。

続いて行われた懇親会では、数年ぶりの再会を喜ぶ人やカメラでの記念撮影をする人もあつた。この日は、酒を飲みながらふるさとの話題で話がはずんでいた。

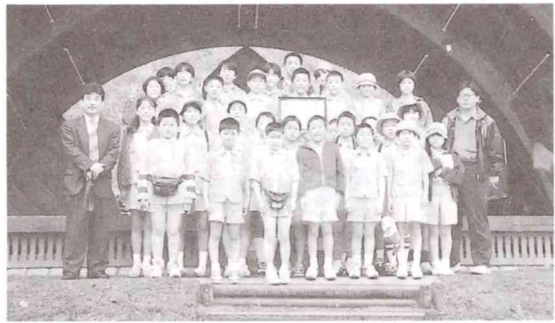
(記事 鹿兒島新報)

緑化功労

優秀団体表彰

大原緑の少年団

例年行われる鹿兒島県緑化推進大会(四月二十九日「緑の日」)で、大原緑の少年団が緑化功労の部で優秀団体として表彰されました。団員は四年生から六年生で現在二十九名が、松田博宣先生(大原小)の指導のもとと育成会と共に緑化活動、果樹作りや他団との交流集会等に頑張っております。



お知らせ

サラリーマンの

特別減税

①平成七年一月から六月までの間に支払われた給与に係る源泉徴収税額の十五パーセント相当額(最高二万五千元)が原則として六月に還付され、年末調整時にあっては、平成七年分の給与に係る年税額の十五パーセント相当額(最高五万円)が控除(六月の減税額を精算)されます。

ただし、年収が二千万円を超す人の場合は、年末調整が行われませんので確定申告により精算することになります。

②今年退職した人が年内に再就職しなかった場合は、来春の確定申告により還付されます。ただし、六月一日までに再就職し、「扶養控除等申告書」を再就職先に提出した場合は、元の勤務先で納めた所得税を含めた還付を、六月の減税の際に再就職先で受けられます。

それ以降に再就職した場合は、年末調整での還付となります。

「使用前に点検を」

扇風機

そろそろ扇風機が活躍する季節。安全に使うため、十分な点検を行いましょう。羽根が回転しない、回転が遅い・不規則、モーター部が熱い、こげ臭いニオイや異常な音がするなどの症状があったら要注意。次のケースが考えられます。プラグが抜けている、タイマースイッチが「切」になっている。ガードが変形している、ガードや羽根の取り付けがゆるんでいる、など。これらをチェックした上でまだ異常があれば、プラグを抜いて使用を中止してください。発煙・発火の恐れがありますので、異常を放置したまま無理に使用するのはやめましょう。再使用の際には必ず販売店等にご相談ください。

平成7年 国勢調査

本年10月1日現在で、全国一斉に国勢調査が行われます。

国勢調査は、日本に住んでいるすべての方を対象とする国の最も基本的な統計調査です。

この調査の結果は統計としてまとめられ、21世紀に向けた各種の計画や福祉対策、雇用対策、住宅対策、防災対策など、各種の行政を行うための重要な基礎資料となります。

皆様のご協力をお願いします。



一総務庁統計局一
鹿児島県・田代町

ありのまま あなたの答えが 国の基礎

**平成7年度
自衛官募集**

○高卒（見込）
防衛大学校（推薦・一般）
防衛医科大学校学生
一般曹候補学生
曹候補士
航空学生
看護学生
○中卒（見込）
自衛隊生徒
○高卒・一般
二等（陸・海・空）士
○受付期間 八月一日から
○詳しいお問い合わせは、
鹿屋募集事務所
鹿屋市新生町二〇一二

税務職員（税務大学校生）募集

試験の程度：高校卒業程度

受付期間：6月30日（金）～7月7日（金）
（消印有効）

（問い合わせ先）鹿屋税務署（☎0994-42-3127）
熊本国税局（☎096-354-6171）
人事院九州事務局（☎092-431-7733）

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



平成7年5月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,790		18	5	15	△2
女	1,981		17	2	15	
計	3,771		35	7	30	△2
世帯数	1,418					6

人口のうごき



月 日	当 番 医	TEL
6/11	黒木内科小児科	6-0750
6/18	長浜医院	2-0137
6/25	城西胃腸科外科	4-2977
7/2	浜畑医院	5-2130
7/9	二川内科胃腸科	2-2033

休日在宅医

尾長谷 弘美 様
櫻井 るみ 様

さきにご逝去されました方のご遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の寄付を賜りました。
厚くお礼申し上げますと共に、ご冥福をお祈りします。

田代町社会福祉協議会
「篤志寄附金」

平成7年度県政モニター募集

- 趣 旨**
県政に対する県民の生の声を聴いて、今後の諸施策の円滑な推進に反映するため、県政モニターを募集する。
- 職 務**
(1)県政に対する意見、提言等を随時、県に通信すること。
(2)アンケート調査、課題通信に回答すること。
(3)事務説明会、モニター大会・地区別モニター会議（隔年開催）などに出席すること。
- 任 期**
平成7年9月1日～平成9年8月31日
- 応募資格**
(1)県内居住者であること。
(2)性別、職業は問わない。ただし、国・地方公共団体の議会議員又は公務員でない者。
(3)県政モニター経験者でない者。
- 謝礼等**
(1)1年に1回記念品を贈呈する。
(2)随時通信1回につき図書券を贈呈する。（ただし、年間5回を限度とする。）
(3)通信等の郵送に要する費用は県が負担する。
(4)会議の出席については、一定旅費を支給する。
(5)「グラフかごしま」等、県政資料を送付する。
- 応募方法**
(1)県合同庁舎・支庁に設置する応募用紙により下記の応募先へ送付する。
(2)市販の履歴書（住所、氏名（ふりがな）、性別、生年月日、職業（具体的に）、主な経歴、最終学歴を記載したもの）と応募の動機を簡単にまとめたものを封書で下記の応募先へ送付する。
- 応募先**
〒892 鹿児島市山下町14-50
県庁総務部広報課（広聴係）
☎0992-22-7428
- 募集期間**
平成7年6月5日（月）～6月30日（金）（当日消印有効）
- 募集人員**
200人
- その他**
選任結果は、応募者全員に通知する。

国民年金プレゼント

- **プレゼント内容**
・国民年金健康保険センター「たるみず」のペア宿泊券 10組
・テレホンカード 300枚
- **応募資格**
次のいずれかに該当する者。
①平成7年4月から平成7年7月までの間に国民年金保険料を前納した者
②国民年金第1号被保険者で平成4年4月から平成7年6月分まで国民年金保険料をもれなく納めた者
③国民年金第1号被保険者だけの加入者で平成6年度中に満60歳に到達し老齢基礎年金の受給資格を満たした者
④平成7年6月までの間に国民年金基金に加入し、加入後国民年金保険料、国民年金基金保険料をもれなく納めた者
- **応募方法**
官製はがきに、応募資格の番号（①～④）、国民年金の記号番号、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、鹿児島県国民年金課へ郵送する。なお、応募は1人1通とする。
宛 先 〒892 鹿児島市山下町14-50
鹿児島県国民年金課「国民年金プレゼント係」
- **応募締切**
平成7年8月10日（当日消印有効）
- **当選者**
抽選により決定する。
- **発表**
当選者は、平成7年9月に本人あて通知する。

年金相談所の開設について

あなたの厚生年金保険、国民年金などの年金に関する相談に応じます。お気軽にご利用ください。

日時 平成7年六月二十八日
水曜日午前10時から午後三時まで

場所 役場一階会議室

相談内容
☆定年や病気などで会社や工場を退職した方で、その後の病気治療や年金の手続きについて知りたい方。
☆以前勤務していた会社、工場などで、年金を掛けていたかどうか調べたい方。
☆年金手帳、または、厚生年金被保険者証を二枚以上持っている方。
☆現在まで厚生年金、国民年金、共済組合などの年金制度にまったく加入したことのない方。
☆二つ以上の年金制度に加入した上で、年金の通算制度について知りたい方。
☆、通算対象期間の確認について知りたい方。
☆、旧令の共済組合員の期間について知りたい方。

平成8年度養鶏技術練習生の募集

鹿児島県養鶏試験場では平成8年度養鶏技術練習生を募集しております。

養鶏関係の知識技能を修得し、就職又は、自営したいという希望者は、県養鶏試験場総務課・川内市隈之城町二七番地
☎0996-3444
募集人員 五名
☆研修期間 平成八年四月から平成九年三月
☆願書受付期間 平成七年十一月一日から十一月三十日まで。
☆試験日 平成七年十二月
☆試験内容 面接及び書類選考
☆その他 入場を許可された者は全員当場の寮に入居すること（食費自己負担）

（旧陸海軍の軍属工員、旧外地公務員など、旧令にもとづく共済組合の組合員であった方）
☆現在、年金をもらっている方で、年金額に疑問のある方や、現況届など、いろいろな届の方法について知りたい方。
☆障害年金、遺族年金、母子年金などについて知りたい方。
☆年金請求手続きや年金に関する手続き用紙をもらいたい方。
☆年金受給者の死亡による、死亡届、未支給請求、遺族年金請求、死亡一時金請求等について知りたい方。

教育だより

大原中学校

①スタートが大切
大原中の一日はジョギングと水かけに始まります。それから静かな雰囲気の中で朝自習となります。生徒会が八時までは全員登校するように、校門のところでチェックします。



生氣を取り戻す草花



朝自習に集中する生徒

②新設クラブ
新しい先生による、めずらしいクラブが誕生しました。一つはフリスビークラブで、プラスチックの皿を目標点に投げ合う競技です。もう一つは運動処方クラブで、個人差に応じた科学的トレーニング法によって体づくりをします。いずれも人気抜群、全校生徒の注目を集めています。



目標点をにらんで



だいぶしなやかになりました

③新入生がんばっています
今年の新入生は二人で、双子のように仲の良い女生徒です。二人なのでみっちり先生の指導を受けることができ、とても幸福です。今までの最少の新入生です。



じっくり学習に取り組めます

④油断大敵
五月二十日、自転車の点検から乗り方までの筆記試験と実地訓練が行なわれました。事故があつてからは遅すぎますからね。



実際の道路はこんなに見通しよくないですよ。

教育総会 & 新任教職員歓迎会 開催
―町民の信頼にこたえる学校 教育をめざして―
四月二十八日、町内の全教職員四十四名が一堂に会し、教育総会が町の中央公民館で開催されました。まず、全体会では、津曲實雄教育長が、町の学校教育重点施策や新しい学力観に立つ指導の工夫と実践の必要性について述べました。



よい実践は綿密な計画から

教科別分科会では、本年度のテーマや行事計画、小中連携の研修のすすめ方等子どもを中心にすえた話し合いが活発に行われました。その後、学校対抗のバレーボール大会を町の体育館で行いました。

夜は、町長、助役、収入役、教育長はじめ教育委員町会議員、役場課長、町内小・中学校の先生、PTA関係者等約八十名が出席し新任の先生方九名の歓迎会を開きました。
松田進町長等が歓迎のあいさつをした後、新任を代表して田代小の右田校長が、「教育熱心で、人情豊かな田代町民の期待に応えられるようがんばります」と決意を述べました。
スギ丸太やモウソウ竹の特製器に盛られたニジマスの塩焼きやイノシシ肉の煮込み等で歓待しました。



田代名産でもてなし

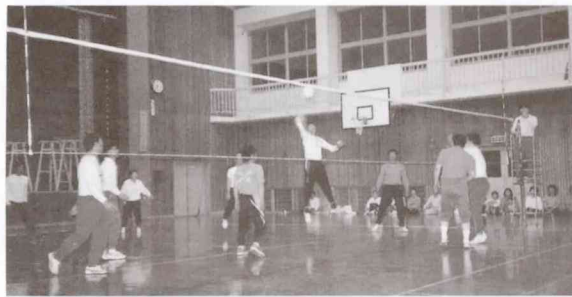
小組合対抗バレーボール大会 麓住宅10回目の優勝!!

田代町体育協会主催の小組合対抗バレーボール大会が、5月18日・19日の両日開催されました。今回は大原住宅の初参加などがあり21チームの参加がありました。大会は予選リーグ決勝トーナメントを町内の小学校の体育館と町体育館の5会場で行われ、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。中でも初出場の大原住宅の活躍は目覚ましく、特に今回、住宅同士となった決勝戦では、息づまる攻防の中、両チームともファイナルプレーの続出で最後まで大会を盛り上げて下さいました。結果は麓住宅の1年ぶり、10回目の優勝で幕を閉じました。

優勝 麓住宅小組合
準優勝 大原住宅小組合
第三位 鳥淵小組合
東中郡小組合



優勝した麓住宅小組合の皆さん

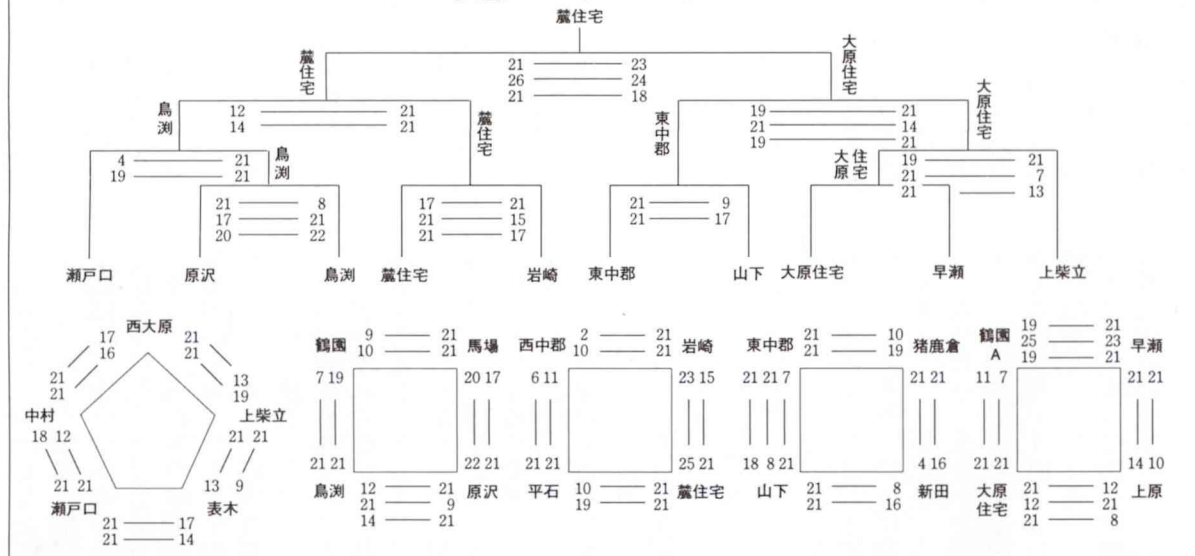


白球に熱戦続出

平成7年度小組合対抗バレーボール大会の結果

期日 平成7年5月18日～19日

決勝トーナメント



16mm映写機操作講習会を開催します

肝属南部地区視聴覚ライブラリー田代分室が主催で16mm映写機操作講習会を開きます。
この講習を受講されますと、簡単な検定のあと県教育委員会から「16mm映写機操作免許証」が交付されます。

なお、免許取得者には、16mm映写機・16mm映画フィルムを無料でお貸しします。
(免許を持たない方にはお貸しできません)
※ 会合や研修会で効率よく内容を深めるために、各団体の役員さん方から一名はできるだけご参加下さい。
※ 教材目録(県・肝属南部)が教育委員会にありますので、ご利用下さい。

期日 6/19(月)・6/20(火)・6/22(木)
時間 午後7時30分～9時30分
場所 中央公民館二階研修室
内容 ①映写機操作 ②映写機の仕組み ③フィルムフォ
ーラムの進め方 他
その他 受講料二百円(テキスト代)

「二家族一プランター推進
事業を成功させよう！」



老人クラブも協力

リーダー育成をめざして

5月21日、大隅少年自然の家(鹿屋)で、社会教育有志指導者研修会が開催され、本町から9名が参加しました。

「ひとり歩きのできる生涯学習・社会教育」をめざすためには、各団体のリーダーを育成することが最も大切です。研修以外にも、各団体の実践活動の中でリーダーの資質を高めていくことが大事です。



レクリエーションで仲間づくり

昨年に引き続き、今年もプランターと花苗を配布します。今回は大原・花瀬・川原の3地区です。一戸につきプランター一個、花苗3本を配布しますが、庭先に飾るのではなく、道路や公民館など目立つ場所に設置し、集落民こぞで「花いっぱい運動」を進めて下さい。

「まちに花、心に夢を咲かせましょう。」

思いやりと
ふれあいと(8)

同和問題の解決に向けて

これまで、部落差別の歴史について

・「どうして部落差別はおこったか」

・「なぜ部落差別は残されたのか」

・「解放へ向けてどのようなあゆみがあつたのか」

の三つの観点から述べてきました。

私たちはだれでも、「差別はいけない」とか、「差別があつてはならない」と思っています。それなのに、部落差別があるのはなぜでしょうか。

差別に気づかず、知らず知らずのうちに差別をしたり、差別をなくそうとしなかったなど、いろいろなことが考えられます。

そこで、この部落差別をなくするには、私たちはどうすればよいかを考えてみましょう。

《差別に気づく心》
私たちは、部落差別の歴史を正しく学び、人間尊重

の精神を身につけることによって、誤った知識や偏見を払拭し、受けつけないようにしなければなりません。

また、差別意識の解消には相手の立場にたち、その思いをとらえる共感的な理解を深める体験が大切です。

正しい知識をもつていてもこの思いやりの心がなければ、差別はなくなりません。

次に、日常生活の中で相互に交流し、親しみ合う人間関係をつくるのが大切です。

私たちの身のまわりをふりかえってみましょう。

「まわりの人を本当に大切にしているか」

「自分は人間として大切にされているか」

このように日々の生活を見直してみることは、差別に気づく力を養うことになります。

一人ひとりの生きかたの中に、差別に気づき、差別をしない、差別を許さない強い心をしっかりと養っていくことによって同和問題は解決するのです。

学校週五日制の月二回実施
子供たちに「ゆとり」と「体験」を

☆地域のみんなで育てよう
○ 地域の将来をバトンタッチする子供たちです。地域を理解し、地域を愛する心豊かな子供に育てましょう。

○ 家庭・学校・地域社会の連携を密にし、地域の子供は地域で育てる態勢をつくりましょう。

―自ら考え 判断 実践を大切に―

六月の学校週五日制関連事業(詳しくは教育委員会まで)

場所	期日	主な内容	TEL
大隅科学教室	10日(土) 11日(日)	ロボコンに挑戦	
陶器を作る(絵付け)			
国立大隅少年自然の家	24日(土)	みんなて遊ぶ(室内)	0994 (46) 2222
ゲーム(室内運動場)			
みんなて			
アニメ映画鑑賞会			
県立青少年研修センター	24日(土) 10日(土)	みんなて	0992 (94) 2111
ニュースポーツを			
楽しもう(午前10時)			
ターゲットパドゴルフなど			
田代町中央公民館	24日(土)		(5) 2515